

令和8年度 第1回学校運営協議会 報告

1 目的

今年度の学校経営計画及び運営方針に基づいた指導成果指標、各分掌の重点目標や各種取り組み内容等の計画について協議する。また委員の方々から本校の学校運営に関する御意見等を頂戴し、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進するとともに学校活性化のための方策について共に考え、本校教育の充実・発展に寄与する。

2 開催日

令和8年6月11日（木）14:00～15:55

3 場所

本校大会議室

4 出席者

会 長	渡 邊	学（岩手大学農学部附属寒冷F S C准教授）
副会長	畠 山	栄 一（前新岩手農業協同組合常務理事）
委 員	岡 田	幸 一（滝沢市立滝沢第二中学校長）
委 員	高 橋	正 明（同窓会支部事務局長）
委 員	川 村	尚 雄（川前自治会長）
委 員	鳥 居	薫（国際ソロプチミスト盛岡トレジャー）
委 員	近 藤	修 三（滝沢里山研究会事務局長）

【欠席】

委 員	藤 澤	信 也（白石食品工業㈱ホールセール事業部マネージャー）
委 員	鈴 木	稔（セブンスヘブンファーム代表取締役）
委 員	田 山	千 晶（(社福)いわて共同福祉会特別養護老人ホームはなみずき施設長）
委 員	須 藤	政 幸（前P T A役員）

【本校職員】

校 長	佐 藤	紀 文
副 校 長	川 口	史 朗
副 校 長	千 葉	章 浩
事 務 長	福 田	隆
総 務 主 任	西 出	和 久（兼委員）
農 場 長	小 野	悟（兼委員）

5 次第及び内容（要旨）

（1）開会

（2）学校長挨拶

今年度の委員を委嘱しておりますが、あらためて感謝申し上げます。

さて、このたび新入生167名を迎え、全校生徒424名で令和8年度が始まり、早2ヶ月

が経ちます。1年生も学校生活に慣れ、高校生活初めての考査である前期中間考査が、本日から始まりました。2・3年生も新たな気持ちで授業に取り組んでおり、部活動においても先週の6月7日まで、高総体県大会が開催され、様々な成果が上がっています。

本校の一番の課題は、生徒の充足です。定員600名ですが、424名と約30%生徒が足りていない状況にあることです。

時代は、急速な情報化やAIといった技術革命のまっただ中であり、農業技術も大きな変化が起こっている。このように新たな時代にも対応した地域人材の育成のための魅力ある盛農を目指し、学校としてもどんどん新たなものへ挑戦していかなければならないと考えています。

先日、報道されましたが、現在、本校は岩手県より国の事業である「ネクストハイスクール構想・高校改革先端拠点」に申請をしました。採用となるかどうかは今月末になりますが、具体的にはスマート農業の設備や施設等の計画を申請しました。もし採用になりましたら、「本校だけ」という考えではなく、農業関係県内12校の中心校として、岩手の農業教育を牽引していくためにも活用したいと考えています。

本日の学校運営協議会では、本校教育活動について皆様から御意見いただくだけでなく、これからの盛農（ネクスト盛農）についても熟議できたらと考えています。本日は忌憚のない御意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

(3) 会長選出

会長は、渡邊学岩手大学農学部附属寒冷FSC准教授が選出された。

(4) 出席者自己紹介

出席者が自己紹介を実施

(5) 報告（担当者から説明）

- ア 令和8年度学校概況
- イ 令和8年度部活動成績（高校総合体育大会等 成績）
- ウ 令和8年度「盛農我らの軌跡」（本校新聞等掲載紹介抜粋）

上記は資料に基づき報告された。

(6) 協議

- ア 令和8年度学校経営計画【校長】
- イ 令和8年度各課・科重点目標【校長】
- ウ 令和8年度「魅力化協働パートナー」との連携事業【農場長】
- エ その他

上記は資料に基づき提案され、承認された。

7 意見交換（質問、提言、指導・助言等）

主な質問、意見等は以下のとおり

【学校運営協議委員 B 委員】

今年の 1 年生の入学者が増えたとのことであるが、その要因は何か。

【校長】

要因は分析していないのでわからないが、中学校ではどのような指導をしているのか。

【学校運営協議委員 C 委員】

中学校では、先生が〇〇高校に進学しようなど指導はしていないが、保護者の意向や、その学年の雰囲気、部活動が続けたいから△△高校に進学したいなど、傾向はつかみきれない。

【学校運営協議委員 B 委員】

体験入学は何回実施しているのか。また体験内容はどのようなものか。

【校長】

年に 2 回実施し、学科の学習を体験していただいている。中学生一人に対して希望する 2 学科の体験をしていただいている。例えば、植物科学科はフラワーアレンジメント、動物科学科は牛の飼育管理や、犬のトレーニングの体験、食品科学科はアイスクリーム作りを体験していただいた。

【学校運営協議委員 C 委員】

農業教育に関して、農場のデジタルトランスフォーメーションなどの革新的な施設や設備が子どもたちは興味を持っていると考える。そのような施設・設備の整備状況や計画があれば教えていただきたい

【副校長】

文部科学省の高等学校 DX 加速化推進事業（DX ハイスクール）により環境整備の経費を支援していただいている。本校では動物科学科のコンピューター制御の搾乳機器、植物科学科ではコンピューター制御の温室管理システムなどスマート農業関係機器の導入を行った。

さらに、専門高校の機能強化・高度化、普通科改革を通じた特色化・魅力化、地理的アクセス・多様な学びの確保を通じた高校教育の転換を実施し、全体で課題を解決する構造へと変化を遂げ、持続的に発展する日本社会を実現する人材の育成を目指す、文部科学省の高校教育改革に関する基本方針に基づいた「N-E. X. T.（ネクスト）ハイスクール構想」への取り組みに、岩手県から改革先導拠点校として推薦され、取り組み始めているところ。

【学校運営協議委員 E 委員】

農業教育に関して、スマート農業の導入はこれからの技術であり農業の魅力化のひとつとして重要であると考えますが、その一方で、手での田植えなど農業の基本技術を学ぶ機会を減らして取り組むのか。

【校長】

デジタル技術の学習も必要であるが、農業の基礎技術も重要である。今後、授業内容は精選しなくてはならない。また、デジタル技術などの応用技術は、課題研究という科目を中心に探究学習活動で取り組む方向である。

【学校運営協議委員 F 委員】

2月に寮生と交流を行った。経営者として進路やキャリアを考える内容の講話をした後に生徒とお話をした。その際に人間関係に悩んでいることを話される生徒が多く驚いた。特に「喧嘩した時の仲直りの仕方とかがわからない」と話す生徒がいた。自分自身がわからない子どもが増えている印象を持った。私の会社の若い社員もわからないことは生成AIに聞いて判断している。若い人たちの不安をどのように解決、解消していくかがこれからの教育にますます必要と感じるところ。

【校長】

ありがとうございます。私も挨拶の中で学校は勉強する場所ではありますが、学校の集団生活において、対面でコミュニケーションをとり、対人スキルを身に付けて欲しいです。説明しておりませんでした。いじめの認知もたくさんありました。いじめは、人間関係のトラブルに起因するもので、小さい段階で認知し、先生を交えて人間関係の構築についても修得させたいと考えている。

【学校運営協議委員 D 委員】

以前、夏休みなどに、地域ごとに集まり農業経営者との交流会があり、地域のことを知り社会に出たときに役立った活動であったと記憶している。現在は、このような活動があるのか。

【校長】

現在は、委員がお話ししているような地域連携は実施していないが、プロジェクト活動等を通じて地域との連携は行っている。

【学校運営協議委員 E 委員】

滝沢市の小学生、中学生はタブレットを持たせて授業に使っているが、高校も使用しているのか。タブレットを使うことは、現代社会では必要と考えるが、家庭内での会話が減っていることを懸念しており、家庭内での規制を実施しているのか。また、この地区は県立大学がありソフトウェア情報学部などとの連携はいかがか。

【校長】

高校も小・中学校と同様にタブレットでの授業も実施している。家庭での規制は特にしていない。御意見のとおり、本校のそばにある県立大学ソフトウェア情報学部との連携もしていきたいと考えている。

【学校運営協議委員 G 委員】

岩手山麓で山仕事をしながら、年齢を問わず森林について知ってもらおうと観察会、クラブ等の体験会を開催している。しかし、最近は熊のことで非常にやりにくくなっている。農

業高校にもICT教育は必要であるが、森にはいろんな樹種があり、山菜が取れる、鳥や虫がいて、森とともに生きている。そういったことの体験を通して、学んで、それがゆくゆくは生かされるだろうという風に自分は感じる。

【校長】

クマは本校でも課題である。しかし、クマ対策をしながら、クマも含めた自然から学ぶということを大切にしている。

【学校運営協議委員 A 委員】

私は大学の農場で教員している。大学の農場には、実習・研究に用いる作物が栽培されており、専門のスタッフがいつも管理している。以前、校長先生に校内農場を案内していただいた際、先生方が農作物と副産物の管理までやらなければいけないことを聞いて非常に苦労されていると感じた。というか。もっと生徒の教育に力を入れられる環境ができればよいと考えてる。予算の面等の課題もあると思うが、やはり専門のスタッフが必要ではないかと考えるところ。

【校長】

ご指摘ありがとうございます。働き方改革も含め、大学農場のように農場管理専門のスタッフが教材管理をしていただければ、先生方ももっと生徒に手をかけられると考える。関係機関に要望はしているが難しい。

8 その他

特になし

9 閉会